

《わたしと生涯学習》 6

これから何か始めようと考えている方に少しでも参考になればと思い、「わたしと生涯学習」と題して、現在「生涯学習推進に携わっている方」「生涯学習を実践されている方」に【生涯学習について日ごろ考えていること】【生涯学習に実際取り組んでいること】などを紹介していただきました。



花ともじ

廣嶋 節司

「私の祖母は花が大好きで冬季以外は、いつも庭は花でいっぱいでした。そんな環境で育ったせいか私も花が大好きで、花ともじに遇いたいと思い、生け花を習い始めたのが二十歳のときでした。それ以来縁があって三十数年間花ともじに遇ってきました。」

働いていたときは、自分で楽しむのが精いっぱいでしたが、退職してからは少し時間の余裕もできたので、近所の若い人や、おばちゃん達と生け花を楽しんでいます。おばちゃん達は七十歳後半で足も痛く思うように座ることもできない状態ですが、こんな近くで気軽に生け花が習えて嬉しいと、月二回を楽しみに来ています。わずか一時間ほどの時間ですが、冗談を言ったり、世間話をしたり、和気あいあいと過ごしています。そんな姿を見て、人はいくつになっても学ぼうとする意欲をもっていることに感心しました。そして身近に学べる場所があることは、年とった人にとって必要なことだと思いました。

また、私は以前から岩絵の具で描かれた日本画の花にひかれていました。繊細で美しく、いつか私も好きな花を描いてみたいと思っていました。

新聞で県立美術館で日本画の講座があることを知り、二カ月間、毎週日曜日甲府まで通って描き方を学びました。退職してから美術館で学習した人達がサークルをつくっていましたが、その仲間に入れてもらい、月二回甲府へ通い学習を続けました。

でも、今は孫の世話に時間をとられ、それもできなくなってしまったので、自分で描いています。昼は何かと忙しいので夜家事を済ませた九時ごろからが、私の絵を描く時間になります。スケッチは花の美しい屋間でないとできないので、時間を見つけたのに一苦勞です。花びら一枚描いたら、お客さんがみえて、そのうちに花が散ってしまったというようないきなりなくなりました。

私にとって花を生けたり、絵を描いているときが心休まる時間となっています。また、花を通して多くの人達と交流できることを幸せに思っています。

《学習相談》

Q&A

Q 企業の週休二日制が進むとともに、長寿社会を迎えて生涯学習の必要性はわかるのですが、具体的にどんな学習をすればよいのですか？

A まず大切なことは、今を自分はどう生きていくか、どう生きるかであり、そのためには、今何をしたいかに気づくことです。気づくとは興味や好奇心を持つことであり、家庭・地域・職場を土台として、自己の生活を見つめ、個性や能力を高めるための第一歩であろうと思います。具体的な学習としては、次のようなものが考えられます。

- 1 学級・講座を通して教養を
- 2 芸術・文化活動を通して豊かな人間性を
- 3 職業・技術の向上のための知識や資格を
- 4 社会参加を通して連帯感の育成を
- 5 趣味を通して生きがいを
- 6 地域活動を通して世代間交流を
- 7 スポーツ・レクリエーションを通して健康づくりを
- 8 ボランティア活動を通して人間形成を

学習といえはつい難しく考えがちですが、一人ひとりが自分のやりたいことを自分にあった方法でやればよいのです。ゆとりと潤いのある生活の中で、いきいきと生涯学習社会を楽しみたいものです。